平成 31 年度　東京都内湾水生生物調査　9 月鳥類調査　速報

●実施状況

令和元年 9 月 17 日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 29.9～32.0℃、北～東の風、風速 3.7～4.0m/sec であった。調査当日は大潮で、干潮が 12 時 36 分（61cm）、満潮は 18 時 35 分（196cm）であった（気象庁のデータ）。各地点の概況を下表に示す。

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
作業時刻	10:58-11:40	12:03-12:44	8:58-10:14
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	29.9	30.7	32.0
風向	北	東	北東
風速（m/sec）	4.0	3.7	3.8
備考	公園側砂浜には人が約 30 名いた。	最干潮時刻でも干潟の干出はやや少なかった。	調査開始時は潮が高く、干潟面積はやや小さかった。水たまりが多かった。

●主な出現種等

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
数が多かった鳥類上位 2 種	カワウ(308 羽)	ウミネコ(146 羽)	カワウ(649 羽)
	アオサギ(43 羽)	カワウ(46 羽)	ウミネコ(433 羽)
その他の鳥類	コサギ、イソシギ、ウミネコ、トビ	カルガモ、ホシハジロ、アオサギ、ダイサギ、イソシギ、ユリカモメ、オオセグロカモメ、ハクセキレイ	スズガモ、サギ類（ダイサギ等）、シロチドリ、メダイチドリ、シギ類（アオアシシギ等）、ユリカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハクセキレイ
備考	・重要種として 3 種を確認(コサギ、イソシギ、トビ)。 ・鳥の島護岸でカワウ、アオサギが休息。 ・カワウ、サギ類の繁殖活動は終了しており、第六台場及び鳥の島で、巣の利用は見られなかった。	・重要種として 2 種を確認（ダイサギ、イソシギ）。 ・干潟でカワウ、カモメ類（ウミネコ、ユリカモメ、オオセグロカモメ）が休息。ダイサギ、アオサギが採餌。 ・ホシハジロ 2 羽が水面を泳ぐのを確認。	・重要種として 15 種を確認(ダイサギ、チュウサギ、コサギ、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、トウネン、ミサゴ、トビ)。 ・干潟でカワウ、カモメ類（ウミネコ等）が休息。サギ類（ダイサギ、アオサギ、コサギ、チュウサギ）が採餌。 ・干潟でシギ類（ダイシャクシギ、ホウロクシギ等）が採餌。

●出現種と個体数

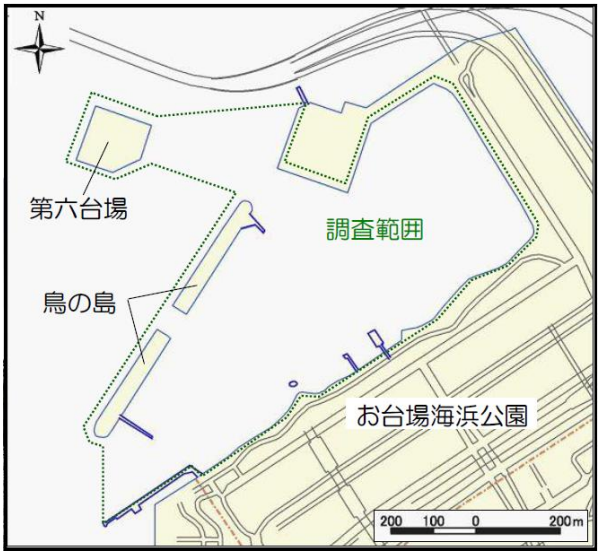
No.	目	科	種名	5月								6月								8月								9月								重要種 選定基準			
				お台場海浜公園					葛西人工渚			お台場海浜公園					葛西人工渚			お台場海浜公園					葛西人工渚			お台場海浜公園					葛西人工渚						
				第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	第六台場	鳥の島	公園側	合計	森ヶ崎の鼻	範囲内	沖合	合計	文化財[*1]保護法	種の[*2]保存法	環境省[*3]RL 2019 鳥類	東京都[*4]RL 2010 (区)
1	カモ	カモ	カルガモ	2	5		7	1	7		7	1	1		2	3	9		9					5	13		13					14							
2			ボンハジロ														3		3													2							
3			スズガモ						12		12						10		10						12		12						30		30				留
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ						4		4																												留
5	カツオドリ	ウ	カワウ	685	178	3	866	103	214	122	336	697	297	5	999	68	624	12	636	141	78	3	222	169	1477	45	1522	103	198	7	308	46	638	11	649				
6	ペリカン	サギ	ゴイサギ	2			2																	2															
7			ササゴイ													1																							CR
8			アオサギ	22	9		31	3	12		12	12	10		22	6	8		8	8	13		21	9	38		38	22	21		43	14	33		33				
9			ダイサギ	2			2	2	8		8	2			2	2	30		30	3			3	11	22		22					10	47		47				VU
10			チュウサギ									1			1		1		1						3		3						3		3			NT	VU
11			コサギ	17			17	1	6		6	3			3	2	7		7	4			4	1	16		16	1			1		13		13				VU
12		トキ	クロツラヘラサギ																						1		1											EN	CR
13	チドリ	チドリ	ムナグロ																					1															VU
14			ダイゼン						2		2														1		1												VU
15			コチドリ					2	2		2		1		1	1									2		2												VU
16			シロチドリ													3									54		54						3		3			VU	VU
17			メダイチドリ																					4	2		2						3		3		国際		NT
18		ミヤコドリ	ミヤコドリ						25		25						19		19																				EN
19		セイタカシギ	セイタカシギ																						1		1											VU	EN
20		シギ	オオソリハシシギ																														1		1			VU	EN
21			チュウシャクシギ						3		3						1		1						1		1						1		1				VU
22			ダイシャクシギ																						1		1						1		1				CR
23			ホウロクシギ						2		2														2		2						2		2		国際	VU	CR
24			コアオアシシギ																														2		2				EN
25			アオアシシギ						4		4														15		15						6		6				NT
26			キアシシギ		1	2	3	4	23		23													1	11		11						1		1				VU
27			ソリハシシギ						3		3														2		2												VU
28			イソシギ					1													6		6	3	4		4		3	2	5	5							VU
29			キョウジョシギ	5	2	1	8	14																	9		9												VU
30			トウネン																														1		1				NT
31		カモメ	ユリカモメ						3		3													2								42	1		1				
32			ウミネコ					4	82	2	84			3	3	2	306	6	312	1	5	4	10	254	1853	21	1874		1	6	7	146	411	22	433				
33			オオセグロカモメ														15		15					2	66		66					4	102		102				
34			コアジサシ			2	2	395		6	6					100		6	6																			VU	EN
35	タカ	ミサゴ	ミサゴ																														1	2	3			NT	EN
36		タカ	トビ																					1					1		1		2		2				NT
37			オオタカ																	1			1															NT	CR
38	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ													1																							VU
39	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	1			1	2	2		2			1	1	3								4	4		4					3	1		1				
計 8目14科39種				8 種	5 種	4 種	10 種	12 種	18 種	3 種	19 種	6 種	4 種	3 種	9 種	12 種	12 種	3 種	13 種	6 種	4 種	2 種	7 種	15 種	24 種	2 種	24 種	3 種	5 種	3 種	6 種	10 種	22 種	3 種	22 種	0 種	2 種	9 種	30 種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録　改訂第7版」（日本鳥学会,2012)に従った。
A:大型カモメに分類されるセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数には数えない。
*1文化財保護法:
*2種の保存法: 国際:国際希少野生動植物
*3環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧
参照：http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html
環境省自然環境局野生生物課．2019年．環境省第4次レッドリスト．
*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、留:留意種
東京都環境局自然環境部．2010年．東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）～東京都レッドリスト～2010年版．

＜お台場海浜公園＞

〇調査地点の状況

第六台場・鳥の島ではカワウ、サギ類の営巣は終了していた。鳥の島の一部で重機による作業が行われていた。



〇出現種（カワウ）

第六台場、鳥の島いずれも繁殖活動は終了しており、使用中の巣は見られなかった。第六台場の樹林や鳥の島の護岸で成鳥・幼鳥の群れが観察された。

〇出現種（アオサギ）

第六台場と鳥の島で確認された。繁殖活動は終了しており、使用中の巣は確認できなかった。成鳥に混じって幼鳥の姿が多く見られた。

＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

最干潮時刻で干潟は干出していた。

○出現種（カモメの仲間）

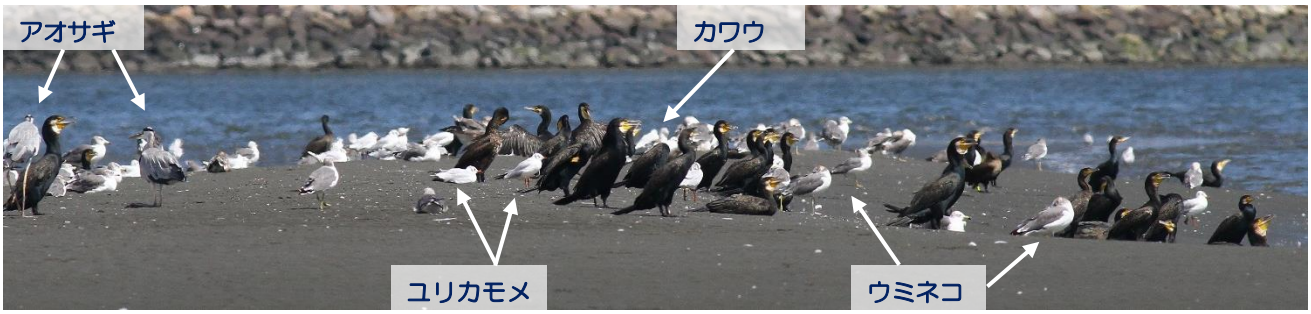
干潟で 3 種のカモメ類が確認された。ウミネコとオオセグロカモメは主に夏から秋にかけて個体数が多く、ユリカモメは冬季に増加する。冬鳥のユリカモメは 42 羽が記録され、これから個体数が増加すると思われる。

○出現種（ホシハジロ）

調査地南側で水面を泳ぐ雄 2 羽を確認した。本種は冬鳥として河川や湖沼、内湾等に飛来し、潜水して採餌する。これから個体数が増加すると思われる。

○干潟利用状況

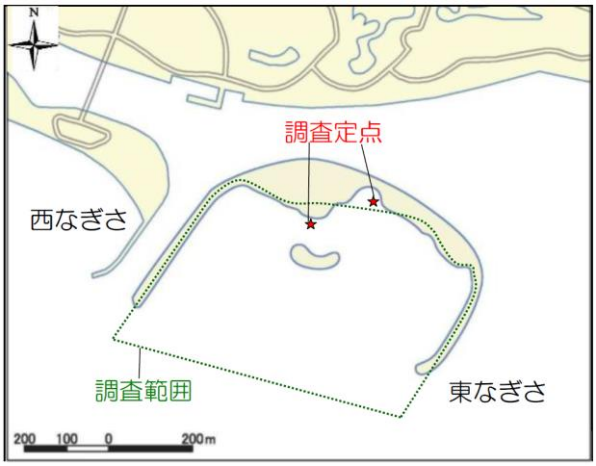
干潟ではカワウとウミネコ、ユリカモメの群れが休息。アオサギとダイサギは干潟で休息の他、一部の個体が採餌していた。



＜葛西人工渚＞

○調査地点の状況

調査開始時は干潟がやや狭かったが、次第に広く干出した。



○出現種（オオソリハシシギ、ホウロクシギ、アオアシシギ）

干潟でチドリ類 2 種、シギ類 8 種が確認された。干潟中央部ではオオソリハシシギ 1 羽とホウロクシギ 2 羽が採餌、アオアシシギは主に陸地側のヨシ原際で採餌、休息していた。オオソリハシシギは環境省レッドリスト(2019)で絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリスト(2010)で絶滅危惧ⅠB 類(EN)に、ホウロクシギは種の保存法で国際希少野生動植物種、環境省レッドリスト(2019)で絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリスト(2010)で絶滅危惧ⅠA 類(CR)に、アオアシシギは東京都レッドリスト(2010)で準絶滅危惧(NT)に指定されている。

○出現種（ミサゴ）

合計 3 羽が出現し、海上の杭で休息の他、海中にダイビングして魚を捕らえ干潟で採餌する様子が観察された。本種は海岸や河口、湖沼に生息し、魚類を捕食する。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドリストで絶滅危惧ⅠB 類(EN)に指定されている。

○干潟利用状況

干潟や汀線付近でウミネコとカワウが群れで休息。汀線付近でアオサギやダイサギ、コサギが採餌していた。

＜その他＞

〇ウミネコの繁殖

平成 31 年 5 月 22 日、6 月 19 日の調査で繁殖を確認した構造物上では、今回ウミネコは確認されず、繁殖は終了していた。

＜トピックス＞

－ コアオアシシギ －

コアオアシシギは東京都レッドリストで絶滅危惧ＩＢ 類(EN)に指定されている希少種である。葛西人工渚では、平成 12 年度に 1 羽、22 年度に 5 羽が記録されており、今回が 3 例目となる。

本種は水田や湿地に飛来することが多く、干潟に現れる事は比較的少ない。今回観察された 2 羽はヨシ原際の水たまりで採餌しており、干潟中央や汀線付近に移動することは無かった。